

奄美大島から得られた奄美群島初記録のミカツキツバメウオ

上城拓也¹・前川隆則²・本村浩之³¹ 〒 890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20 鹿児島大学大学院水産学研究科² 〒 894-0026 鹿児島県奄美市名瀬港町 6-16 株式会社前川水産³ 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

■ はじめに

ミカツキツバメウオ *Platax boersii* Bleeker, 1853 は、日本からインドネシアにかけての西太平洋に分布するマンジュウダイ科魚類である(岸本ほか, 1988; 岸本, 1997; Heemstra, 2001; 林・萩原, 2013; 畑・本村, 2018). 日本国内においては石川・松浦 (1897) が八重山諸島から得られた標本をもとに初めて報告し, その後, 福井県, 岩手県から鹿児島県大隅半島東岸にかけての太平洋沿岸, 伊豆諸島, 小笠原諸島, 大隅諸島, 沖縄諸島および八重山諸島から報告されている(岸本ほか, 1988; 吉野, 2008; 三浦, 2012; 林・萩原, 2013; Koeda et al., 2016; 籾木, 2016; Motomura and Harazaki, 2017; 木村ほか, 2017; 畑・本村, 2018; 三木, 2019).

2019年3月4日に鹿児島県奄美大島近海において1個体のミカツキツバメウオが採集された. 本標本は奄美群島における本種の標本に基づく初めての記録となるため, ここに報告する.

■ 材料と方法

標本の計数・計測は岸本ほか (1988) にしたがった. 標本の作製, 登録, 撮影, および固定方法は

Uejo, T., T. Maekawa and H. Motomura. First record of *Platax boersii* (Perciformes: Ehippidae) from the Amami Islands, Japan. *Nature of Kagoshima* 45: 377–379.

✉ HM: the Kagoshima University Museum, 1-21-30 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan (e-mail: motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp).

Published online: 22 April 2019

http://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_045/045-065.pdf

本村 (2009) に準拠した. 標準体長は体長または SL と表記し, ノギスを用いて 0.1 mm 単位で計測した. 本報告で用いられた標本 [KAUM-I. 129184, 体長 300.3 mm, 鹿児島県奄美大島近海 (奄美市名瀬漁業協同組合にて購入), 2019年3月4日, 前川隆則] は鹿児島大学総合研究博物館 (KAUM) に保管されており, 上記の生鮮時の写真 (Fig. 1) は同館の画像データベースに登録されている.

■ 結果と考察

鹿児島県奄美大島産の標本は, 最大体高が著しく高く体長の 83.1% であること, 背鰭と臀鰭の基底部分が幅広く被鱗し, 棘部と軟条部間が欠刻しないこと, 両鰭の棘の大部分が皮下に埋没すること, 背鰭棘が後部のものほど長いことなどの特徴が岸本ほか (1988) によって定義されたツバメウオ属 *Platax* に同定された. また, 眼間隔域の前縁が膨出すること, 腹鰭が黒色であること, 腹鰭基底部分後に黒斑がないこと, 体側が銀白色を呈すること, 側線有孔鱗数が 50 であることにより岸本ほか (1988), 林・萩原 (2013), および畑・本村 (2018) が示した *Platax boersii* の標徴とよく一致したため, 本種と同定された.

本標本の計数・計測形質は以下のとおりである. 胸鰭軟条数 17; 腹鰭棘数 1; 腹鰭軟条数 5; 側線有孔鱗数 50. 体各部の体長に対する割合 (%): 頭長 30.3; 吻長 11.8; 眼窩径 7.4; 両眼間隔 14.1; 最大体高 83.1; 最大体幅 17.5; 尾柄長 11.6; 尾柄高 14.8; 上顎長 9.5; 胸鰭長 21.0; 腹鰭棘長 22.6; 腹鰭長; 46.3; 眼後長 14.7; 眼下骨幅 6.0; 尾鰭長 26.9.



Fig. 1. Fresh specimen of *Platax boersii* from Amami-oshima island, Kagoshima Prefecture, Japan (KAUM-I. 129184, 300.3 mm SL).

ミカツキツバメウオの奄美群島における報告はこれまでになく、近年の奄美群島の魚類相を扱った Nakae et al. (2018) や Mochida and Motomura (2018), 本村ほか (2019) などにおいても記録されていない。したがって、鹿児島県奄美大島産の標本 (KAUM-I. 129184) はミカツキツバメウオの奄美群島における初めての記録となる。

■ 謝辞

本報告を取りまとめるにあたり、鹿児島大学大学院連合農学研究科の和田英敏氏および鹿児島大学大学院水産学研究科の中村潤平氏には適切な

助言をいただいた。また、鹿児島大学総合研究博物館魚類分類学研究室の学生やボランティアのみなさまには、標本の作製および登録作業にご協力をいただいた。ここに深く感謝する。本研究は鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」の一環として行われた。本研究の一部は公益財団法人日本海事科学振興財団「海の学びミュージアムサポート」、JSPS 科研費 (19770067, 23580259, 24370041, 26241027, 26450265), JSPS 研究拠点形成事業-B アジア・アフリカ学術基盤形成型、国立科学博物館「日本の生物多様性ホットスポット」の構造に関する研

究プロジェクト」, 文部科学省特別経費「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点整備」, および鹿児島大学重点領域「研究環境(生物多様性・島嶼プロジェクト)学長裁量経費の援助を受けた。

■ 引用文献

- 畑 晴陵・本村浩之. 2018. 九州沿岸初記録のマンジュウダイ科魚類ミカツキツバメウオの記録. *Nature of Kagoshima*, 45: 73–77.
- 林 公義・萩原清司. 2013. マンジュウダイ科. Pp. 1609–1611, 2212. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 秦野.
- Heemstra, P. C. 2001. Ephippidae, spadefishes (batfishes). Pp. 3611–3622. In K. E. Carpenter and V. H. Niem (Eds.), *FAO species identification guide for fishery purposes. The living marine resources of the western central Pacific. Vol. 6. Bony fishes part 4 (Labridae to Latimeriidae), estuarine crocodiles, sea turtles, sea snakes and marine mammals*. FAO, Rome.
- 石川千代松・松浦欽一郎. 1897. 帝国博物館天産部魚類標本目録. 帝国博物館, 東京. 64 pp.
- 鏡木紘一. 2016. 種子島の釣魚図鑑. たました舎, 西之表. 157 pp.
- 木村祐貴・日比野友亮・三木涼平・峯苔 健・小枝圭太. 2017. 緑の火山島 口永良部島の魚類. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 200 pp.
- 岸本浩和. 1997. マンジュウダイ科. Pp. 630–632. 岡村 取・尼岡邦夫(編), 山溪カラー名鑑 日本の海水魚. 山と溪谷社, 東京.
- 岸本浩和・林 公義・河野裕美・森山 修. 1988. 日本産ツバメウオ属魚類の分類学的再検討. 横須賀市自然・人文博物館研報(自然科学), 36: 19–38, pls. 3–4.
- Koeda, K., Y. Hibino, T. Yoshida, Y. Kimura, R. Miki, T. Kunishima, D. Sasaki, T. Fukuhara, M. Sakurai, K. Eguchi, H. Suzuki, T. Inaba, T. Uejo, S. Tanaka, M. Fujisawa, H. Wada and T. Uchiyama. 2016. Annotated checklist of fishes of Yonaguni-jima island, the westernmost island in Japan. *The Kagoshima University Museum, Kagoshima*. vi + 120 pp.
- 三木涼平. 2019. ミカツキツバメウオ. Pp. 172–173. 村瀬敦宣・三木涼平・和田正昭・瀬能 宏(編), 宮崎県のさかなのまち 門川の魚図鑑. 宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター延岡フィールド, 延岡.
- 三浦信男. 2012. 美ら海市場図鑑 知念市場の魚たち. ウェーブ企画, 与那原. 140 pp.
- Mochida, I. and H. Motomura. 2018. An annotated checklist of marine and freshwater fishes of Tokunoshima island in the Amami Islands, Kagoshima, southern Japan, with 214 new records. *Bulletin of the Kagoshima University Museum*, 10: 1–80.
- 本村浩之. 2009. 魚類標本の作製と管理マニュアル. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 70 pp.
- 本村浩之・萩原清司・瀬能 宏・中江雅典(編). 2019. 奄美群島の魚類図鑑. 南日本新聞開発センター, 鹿児島. 436 pp.
- Motomura, H. and S. Harazaki. 2017. Annotated checklist of marine and freshwater fishes of Yaku-shima island in the Osumi Islands, Kagoshima, southern Japan, with 129 new records. *Bulletin of the Kagoshima University Museum*, 9: 1–183.
- Nakae, M., H. Motomura, K. Hagiwara, H. Senou, K. Koeda, T. Yoshida, S. Tashiro, B. Jeong, H. Hata, Y. Fukui, K. Fujiwara, T. Yamakawa, M. Aizawa, G. Shinohara and K. Matsuura. 2018. An annotated checklist of fishes of Amami-oshima Island, the Ryukyu Islands, Japan. *Memoirs of the National Museum of Nature and Science, Tokyo*, 52: 205–361.
- 吉野雄輔. 2008. 山溪ハンディ図鑑 13 日本の海水魚. 山と溪谷社, 東京. 543 pp.